

2025.12.4^木, 5^金, 6^土

遠吠えが、聴こえる。

山津見神社例大祭

- 山の神々のゆくえ -

於・山津見神社

福島県相馬郡飯館村佐須字虎捕266



山津見神社例大祭

福島県飯館村の山津見神社例大祭が
新たな文脈をたずさえて復活します！

東日本大震災および原子力発電所事故の影響で全村避難を余儀なくされた飯館村。震災前の山津見神社では旧暦10月15日から17日に例大祭が執り行われ、村内外から延べ3万人の方が参拝する大きなお祭りでした。途絶えてしまった飯館村・山津見神社の例大祭を、地域の記憶や自然信仰とアートの力を掛け合わせ復活します。

-山の神々のゆくえ-

2025 (三日間の祭礼)

12.4(木) 5(金) 6(土)

神事: 08:00~17:00 | 各日

境内祭り: 09:00~18:00 | 4(木), 6(土)

09:00~20:00 | 5(金)



地域住民による茅屋根の茶屋復活

震災前、例大祭の名物だった地域住民による茅屋根の茶屋が待望の復活です。茅と囲炉裏に囲われた空間で、温かいそばやうどん、飯館村の郷土料理を提供します。



3日間、多様な屋台祭りが復活

3日間の祭りを盛り上げていた沢山の屋台。新たな地域事業者とも協働し、新旧入り混じる多様な屋台が軒を連ねます。煌々と光る屋台の灯をもう一度、飯館村の冬の名物として復活させます。



伝統芸能である虎捕太鼓が復活

山津見神社に伝わる虎捕伝説を曲にした、虎捕太鼓の奉納演奏。伝統を受け継ぐ地域住民と福島大学の学生たちが披露します。



自然信仰や伝説を題材とした物語を上演

福島県を代表する詩人・和合亮一さんと、浜通りに移住した演出家・野宮有姫さんと共に、山津見神社や虎捕山、飯館村の自然との共生の在り方を現代に伝える物語を屋外舞台上で上演します。



鴻池朋子さんの作品《狼ベンチ》を設置

現代芸術家・鴻池朋子さんは数年前から飯館村を訪れ、この土地についてのリサーチを続けています。今回、大阪万博にて制作された狼ベンチの1匹が飯館村にやってきます。



相馬藩第34代当主相馬行胤氏が騎乗参拝

山津見神社のある虎捕山は相馬藩の北西の端。250年前の大飢饉の際に相馬藩主は異例の移民政策をとり、飯館の里山の存続を支えました。そして現代、相馬藩第34代当主相馬行胤氏が、3日間かけて飯館村のゆかりのある場を馬で巡り、山津見神社へと参拝します。

クラウドファンディング実施中！

今回の例大祭復活は山津見神社周辺の佐須地区だけでなく、飯館村、そして近隣町村にとっても大きな意味を持つものになると感じています。これまで、原子力発電所事故による避難、火災による拝殿消失など多くの苦難がありましたが、地区住民、飯館村の皆さんの復興に向けたご尽力と飯館村の外から関わってくださっている皆さんのご協力のおかげでここまで来れたと感じております。本当にありがとうございます。度重なる応援とご支援のお願いにより恐縮ですが何卒、例大祭の復活に向けたご支援・ご協力賜えますと幸いです。

[CAMPFIRE]



[Instagram]

最新情報はこちら
@relaxo.yamamoto_kate



リターン一覧 (デザイン制作中のため、画像はイメージです)

飯館村を 巡るツアー 十万円	グッズセット 三万円	御朱印帳 一万円	手ぬぐい 五千円
----------------------------------	--------------------------	------------------------	------------------------



主催
山津見神社例大祭実行委員会



制作
図国倉庫



福島県浜通り地域を映像・芸術文化を通じて活性化させる経済産業省「福島浜通り映像・芸術文化プロジェクト」のうち「映像・芸術文化を通じた関係人口創出事業（ハマコネ HAMA CONNECTED）」の補助金採択事業として開催しています。